

青森市中期財政見通し

(H27.8月試算)

試算の変更点（H27.2月試算からの修正点）

番号	項目	内容
①	H26決算見込反映	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実質収支見込2,533百万円（うち基金積立1,300百万円（財政計画上の目標800百万円）） ・ 3基金取崩し△1,604百万円 予算6,104百万円⇒決算4,500百万円（元氣臨時交付金分を除く） ・ H27への繰越事業及びH26年度債確定による影響を反映
②	H27普通交付税本算定額反映	①現在計上額 31,390百万円 ②H27本算定額 30,563百万円 差引き影響額（②-①） △827百万円
③	H27市税収入見込反映	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民税（現年分） 予算額15,174百万円⇒見込額15,808百万円（634百万円増）
④	H27補正予算等反映	<ul style="list-style-type: none"> ・ 補正予算等の影響を反映 <ul style="list-style-type: none"> ◇33人学級（小4拡大）議案取り下げ（当初追加補正） ◇H27職員給与改定（当初追加補正） ◇まちなか保健室運営（9月補正） ◇アウガ情報コーナー運営費（9月補正） など
⑤	青森駅周辺まちづくり関連事業の方向性反映	総事業費が当初計画の約1.5倍となったことを受け、事業費縮減に向けJR東日本に協力をお願いし、持続可能な財政運営と有利な財源確保に努めつつ、概ね本年度末での事業実施時期の判断を目指し最大限努力する ⇒平成28年度以降について未計上とする ※影響額は12ページ参照

(参考)

試算に反映されている主な大規模プロジェクト等

○中期財政見通しに反映されている主な事業

プロジェクト名	(単位：億円)				事業期間 (財政計画期間)	摘要
	事業費	国県他	市債	一般財源		
合併特例債事業(浪岡地区4事業)	62.1	8.4	49.0	4.7	H23～H27	うち合併特例債48.7億円
市営住宅整備事業(幸畑第二・小柳第一団地)	27.9 (82.2)	13.8 (41.0)	13.2 (40.3)	0.9 (0.9)	H23～H27 (H23～H31)	
八甲田丸関連	6.8		5.3	1.5	H24～H27	
小・中学校整備事業 (横内小・金沢小・小柳小・東中・筒井中)	51.9	22.9	22.3	6.7	H23～H27	
清掃工場解体費(三内・梨の木(除染のみ))	5.9			5.9	H23～H27	
支所再整備事業 (横内、後潟、原別、浜館、奥内)	3.3 (3.9)	2.9 (2.9)	0.2 (0.6)	0.2 (0.4)	H25～H27 (H25～H29)	
庁舎整備事業(第一期分)	99.6	9.4	73.1	17.1	H24～H32	
浪岡最終処分場適正廃止対策	4.4 (14.8)			4.4 (14.8)	H26～H27 (H26～H32)	適正化対策 H27～H30 モニタリング H31～H32
橋梁長寿命化修繕事業	6.0 (29.3)	3.3 (16.1)	2.4 (11.9)	0.3 (1.3)	H26～H27 (H26～H31)	事業期間～H36見込
子ども医療費助成(小学生通院、中学生入院・通院拡充)	2.0 (18.0)	0.8 (0.8)		1.2 (17.2)	H27 (H27～H31)	

○中期財政見通しに含まれていない主な事業

- ・操車場跡地利用促進事業 【青森操車場跡地利用計画審議会の答申を踏まえ、現在検討中】
- ・青森駅周辺まちづくり関連事業 【事業費縮減に向け協議を進め、本年度末での事業実施時期の判断を目指す】

青森市財政プラン2011における目標①

▼青森市財政プラン2011に掲げる3つの目標

①単年度収支の均衡

- ・中期財政計画期間中に単年度収支の黒字化を図る。

②財源調整のための基金の一定額確保

- ・3基金残高50億円の確保を維持し、更に現計画期間終了後も持続可能な財政運営となるよう、H28以降の庁舎整備に要する一般財源を現計画期間中に確保する。

【変更前】H27末基金残高目標：65.6億円（6,560百万円）



【変更後】H27末基金残高目標：66.1億円（6,614百万円）

③将来負担に配慮した市債発行と公債費償還の適正化

- ・プライマリーバランスの黒字（臨時財政対策債除く）を維持し、市債残高の減を図る。

青森市財政プラン2011における目標②

【変更前】庁舎整備事業（H27.2月試算）

（単位：百万円）

区 分	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	計
事業費	11		39	193	453	1,849	4,030	2,447	938	9,960
国・県支出金			7	26	21	178	444	266		942
市債			10	101	377	1,540	3,015	1,612	704	7,359
うち通常債			10	101	377	179	1,457	1,612	704	4,440
うち特例債						1,361	1,558			2,919
一般財源	11		22	66	55	131	571	569	234	1,659

合併特例債活用事業の事業費確定等により
庁舎整備事業に充当できる合併特例債の減



1,560百万円

【変更後】庁舎整備事業（H27.8月試算）

（単位：百万円）

区 分	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	計
事業費	11		33	177	437	1,840	4,058	2,463	941	9,960
国・県支出金				31	20	177	444	266		938
市債			5	91	360	1,536	2,991	1,625	706	7,314
うち通常債			5	91	360	164	1,645	1,625	706	4,596
うち特例債						1,372	1,346			2,718
一般財源	11		28	55	57	127	623	572	235	1,708

1,614百万円

(単位：百万円)

端数処理による積上げのため計
と一致しない

平成27年8月試算（今回）

		財政計画期間 ←				→ 財政計画期間外			
区 分		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
歳 入	市税	35,411	35,812	34,983	34,366	34,568	35,049	34,864	35,316
	譲与税・交付金	4,469	4,518	4,993	6,224	6,370	6,555	7,654	7,208
	地方交付税	30,863	28,512	29,132	26,996	26,716	26,192	25,377	25,430
	国・県支出金	28,783	36,324	31,101	33,765	29,956	30,715	32,133	32,352
	市債	10,271	14,444	14,121	10,688	7,884	8,915	10,049	7,845
	その他	9,467	8,208	8,664	9,699	6,771	6,614	6,473	6,542
	歳入合計①	119,264	127,818	122,994	121,738	112,265	114,040	116,550	114,693
歳 出	義務的経費	66,296	66,768	69,270	69,708	69,050	69,520	69,619	70,490
	人件費 扶助費 公債費	13,006	12,910	13,252	12,994	12,272	11,941	11,799	11,755
		36,580	36,732	37,541	39,445	39,674	40,617	41,762	43,158
		16,710	17,126	18,477	17,269	17,104	16,962	16,058	15,577
	普通建設事業費	9,422	18,416	14,639	10,915	6,228	7,445	9,179	5,875
	繰出金	17,636	19,300	19,578	18,971	19,177	19,744	19,044	19,186
	うち公営企業 ・準公営企業	4,632	4,632	4,691	4,677	4,800	4,954	4,208	4,272
		その他	23,998	22,015	23,388	23,904	20,485	20,125	20,016
	歳出合計②	117,352	126,499	126,875	123,498	114,940	116,834	117,858	115,588
収入確保と経費節減額③					800	800	800	800	800
シーリングによる歳出抑制④									
単年度収支 A=①-②+③+④		1,912	1,319	△ 3,881	△ 960	△ 1,875	△ 1,994	△ 508	△ 95
翌年度繰越金 ⑤				2,533					
翌年度繰越財源⑥				753					
前年度決算剰余金の1/2以上 ⑦				800	1,300				
基金運用益 ⑧				15	40				
基金残高(前年度末残高+A-⑤-⑥+⑦+⑧)		13,305	13,442	7,090	7,470	5,595	3,601	3,093	2,998
うち元気臨時交付金積立分			2,665	全額取崩し					
	その他	13,305	10,777	7,090	7,470	5,595	3,601	3,093	2,998
市債残高		167,237	167,007	164,826	160,563	152,121	145,634	141,696	141,079
うち臨時財政対策債		37,479	41,397	44,741	47,480	48,702	49,190	48,630	48,519

(参考)

(単位：百万円)

平成27年度当初予算編成を踏まえた中期財政見通し（前回）

端数処理による積上げのため計
と一致しない

区 分		財政計画期間 ←				→ 財政計画期間外			
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
歳 入	市税	35,411	35,812	34,816	33,731	33,915	34,398	34,213	34,665
	譲与税・交付金	4,469	4,518	4,699	6,206	6,352	6,536	7,636	7,190
	地方交付税	30,863	28,512	27,788	28,115	27,842	27,364	26,515	26,575
	国・県支出金	28,783	36,324	33,444	31,839	30,476	31,646	34,780	32,759
	市債	10,271	14,444	14,665	9,416	8,003	9,339	12,371	7,702
	その他	9,467	8,208	8,885	7,928	6,771	6,614	6,473	6,542
	歳入合計①	119,264	127,818	124,297	117,235	113,359	115,897	121,988	115,433
歳 出	義務的経費	66,296	66,768	69,125	69,334	69,563	70,035	70,215	71,102
	人件費 扶助費 公債費	13,006	12,910	13,312	13,059	12,343	12,012	11,870	11,820
		36,580	36,732	38,715	39,006	40,096	41,040	42,185	43,580
		16,710	17,126	17,098	17,269	17,124	16,983	16,160	15,702
	普通建設事業費	9,422	18,416	17,404	8,739	6,820	8,899	14,435	6,153
	繰出金	17,636	19,300	19,696	18,901	19,197	19,763	19,063	19,205
	うち公営企業 ・準公営企業	4,632	4,632	4,709	4,724	4,815	4,969	4,223	4,288
	その他	23,998	22,015	26,850	22,063	20,524	20,145	20,025	20,036
歳出合計②	117,352	126,499	133,075	119,037	116,104	118,842	123,738	116,496	
収入確保と経費節減額③				800	800	800	800	800	800
シーリングによる歳出抑制④									
単年度収支 A=①-②+③+④		1,912	1,319	△ 7,978	△ 1,002	△ 1,945	△ 2,145	△ 950	△ 263
翌年度繰越金 ⑤			1,591						
翌年度繰越財源⑥			406						
前年度決算剰余金の1/2以上 ⑦			800	800					
基金運用益 ⑧			15	59	40				
基金残高(前年度末残高+A-⑤-⑥+⑦+⑧)		13,305	13,442	6,323	5,361	3,416	1,271	321	58
うち元気臨時交付金積立分			2,665	全額取崩し					
	その他	13,305	10,777	6,323	5,361	3,416	1,271	321	58
市債残高		167,237	167,007	166,811	161,275	153,239	147,465	146,057	141,657
うち臨時財政対策債		37,479	41,397	44,903	46,807	48,007	48,495	47,927	47,823

(参考)

(単位：百万円)

平成27年度予算編成前段階の財政計画（平成26年10月計画）

端数処理による積上げのため計
と一致しない

区 分		財政計画期間 ←				→ 財政計画期間外			
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
歳 入	市税	35,411	35,812	34,515	33,803	33,995	34,045	33,491	33,537
	譲与税・交付金	4,469	4,518	4,699	6,681	6,430	6,430	6,430	6,000
	地方交付税	30,863	28,512	27,744	27,992	27,682	27,560	27,437	27,314
	国・県支出金	28,783	36,324	32,136	30,453	31,030	32,277	35,511	33,746
	市債	10,271	14,444	14,626	7,644	7,530	8,747	12,844	8,467
	その他	9,467	8,208	8,769	7,176	7,367	7,109	6,763	7,127
	歳入合計①	119,264	127,818	122,489	113,749	114,034	116,168	122,476	116,191
歳 出	義務的経費	66,296	66,768	68,030	67,131	67,916	68,120	68,376	69,676
	人件費 扶助費 公債費	13,006	12,910	13,313	12,225	11,775	11,492	11,232	11,195
		36,580	36,732	37,393	38,161	39,201	40,431	41,896	43,651
		16,710	17,126	17,324	16,745	16,940	16,197	15,248	14,830
	普通建設事業費	9,422	18,416	16,974	7,537	7,006	8,874	15,019	8,091
	繰出金	17,636	19,300	19,212	18,125	18,025	18,312	18,151	18,297
	うち公営企業 ・準公営企業	4,632	4,632	4,659	4,396	4,237	4,140	3,917	3,928
	その他	23,998	22,015	25,818	22,828	22,431	22,422	22,514	22,623
歳出合計②	117,352	126,499	130,034	115,621	115,378	117,728	124,060	118,687	
収入確保と経費節減額③				800	800	800	800	800	800
シーリングによる歳出抑制必要額④					25	25	25	25	25
単年度収支 A=①-②+③+④		1,912	1,319	△ 6,745	△ 1,047	△ 519	△ 735	△ 759	△ 1,671
翌年度繰越金 ⑤			1,591						
翌年度繰越財源⑥			406						
前年度決算剰余金の1/2以上 ⑦			800	800					
基金運用益 ⑧			15	59					
基金残高（前年度末残高+A-⑤-⑥+⑦+⑧）		13,305	13,442	7,556	6,509	5,990	5,255	4,496	2,825
うち元気臨時交付金積立分	うち元気臨時交付金積立分		2,665	全額取崩し					
	その他	13,305	10,777	7,556	6,509	5,990	5,255	4,496	2,825
市債残高		167,237	167,007	166,857	159,754	152,234	146,610	145,954	141,528
うち臨時財政対策債		37,479	41,397	44,767	46,380	47,723	48,672	49,292	50,803

H26.10月計画（目標）との比較①

① H26.10月 予算編成前 計画

（一般会計、単位：百万円）

区 分	H22	H23	H24	H25	H26	H27
単年度収支	3,717	3,147	1,912	1,319	△6,745	△1,047
3基金残高	9,611	12,471	13,305	13,442	7,556	6,509
市債残高	178,541	174,724	167,237	167,007	166,857	159,754
うち臨時財政対策債	29,803	33,453	37,479	41,397	44,767	46,380

目標変更後 6,614 A

3基金残高 目標不達成
（変更後目標比△1,253百万円）

② H27.2月 予算編成後 試算

区 分	H22	H23	H24	H25	H26	H27
単年度収支	3,717	3,147	1,912	1,319	△7,978	△1,002
3基金残高	9,611	12,471	13,305	13,442	6,323	5,361
市債残高	178,541	174,724	167,237	167,007	166,811	161,275
うち臨時財政対策債	29,803	33,453	37,479	41,397	44,903	46,807

H27.2月試算より2,109百万円改善
◆主な増減要素◆
①H26決算見込反映
基金取崩しの減額:1,604百万円
決算剰余金積立増: 500百万円
③H27税収見込反映
市民税増収額:635百万円
④H27普通交付税本算定反映
H27影響額:△827百万円

③ H27.8月 試算（今回）

区 分	H22	H23	H24	H25	H26	H27
単年度収支	3,717	3,147	1,912	1,319	△3,881	△960
3基金残高	9,611	12,471	13,305	13,442	7,090	7,470
市債残高	178,541	174,724	167,237	167,007	164,826	160,563
うち臨時財政対策債	29,803	33,453	37,479	41,397	44,741	47,480

B

【目標に対する見込み】

- ①単年度収支黒字化 ×目標不達成
- ②3基金残高 ○目標達成（変更後目標比(B - A) + 856百万円）
- ③プライマリーバランス黒字 ○目標達成

H26.10月計画（目標）との比較② ※H31までの試算値

← 財政計画期間

→ 財政計画期間外

（一般会計、単位：百万円）

① H26.10月 予算編成前 計画

区 分	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
単年度収支	3,717	3,147	1,912	1,319	△6,745	△1,047	△519	△735	△759	△1,671
3基金残高	9,611	12,471	13,305	13,442	7,556	6,509	5,990	5,255	4,496	2,825
市債残高	178,541	174,724	167,237	167,007	166,857	159,754	152,234	146,610	145,954	141,528
うち臨時財政対策債	29,803	33,453	37,479	41,397	44,767	46,380	47,723	48,672	49,292	50,803

② H27.2月 予算編成後 試算

区 分	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
単年度収支	3,717	3,147	1,912	1,319	△7,978	△1,002	△1,945	△2,145	△950	△263
3基金残高	9,611	12,471	13,305	13,442	6,323	5,361	3,416	1,271	321	58
市債残高	178,541	174,724	167,237	167,007	166,811	161,275	153,239	147,465	146,057	141,657
うち臨時財政対策債	29,803	33,453	37,479	41,397	44,903	46,807	48,007	48,495	47,927	47,823

③ H27.8月 試算（今回）

区 分	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
単年度収支	3,717	3,147	1,912	1,319	△3,881	△960	△1,875	△1,994	△508	△95
3基金残高	9,611	12,471	13,305	13,442	7,090	7,470	5,955	3,601	3,093	2,998
市債残高	178,541	174,724	167,237	167,007	164,826	160,563	152,121	145,634	141,696	137,221
うち臨時財政対策債	29,803	33,453	37,479	41,397	44,741	47,480	48,702	49,190	48,630	48,519

財政見通し（H27以降）に影響を及ぼす今後の変動要素

番号	項目	状況
①	青森駅周辺まちづくり関連事業	次頁のとおり
②	操車場跡地利用促進事業	青森操車場跡地利用計画審議会の答申を踏まえ現在検討中
③	豪雪による除排雪経費の増加	近年の豪雪等により当初予算額を大幅に上回る傾向が続いており、現計予算と直近5ヵ年平均を比較すると約555百万円の乖離が生じている
④	石江土地区画整理地内保留地を売却できなかった場合の財政負担	平成27年度までを集中売却期間として、あっせん制度、用地取得費助成、利子補給助成等により販売促進を図っている（公債費：H28～H30に満期を迎える分については、これまでの保留地売却分で繰上償還予定であるが、H31以降に満期を迎える地方債残高が1,992百万円ある）
⑤	新たに策定する行財政改革プラン・定員管理計画（計画期間：H28～H32）に基づく取組	今年度中に策定

(資料)

青森駅周辺まちづくり関連事業 (一般財源影響額 ~H31:528百万円)

青森駅周辺整備推進事業の今度の方向性

- 事業費縮減に向け、JR東日本に協力をお願いし、検討を進める。
 - JR東日本から示された「本年度内に関係者において調整を図りたい」という考えも踏まえ、持続可能な財政運営と有利な財源確保に努めつつ、できるだけ早い時期、概ね本年度末での判断を目指し最大限努力する。
 - 今後策定する立地適正化計画と連携し、誘導すべき都市機能の検討を行うほか、これまでの議会並びに市民の皆様からのご意見を踏まえ、青森駅から市役所にかけてのまちづくりについて、関係団体等からご意見を伺う。
- ※来年度の国からの交付金については、今回の判断に基づき、本年度いっぱい検討を行い、実施することになると、来年度に設計着手となることが想定されることから、本年度国から内示を受けた交付金を来年度に繰越して活用することについて県・国と調整。

青森駅周辺整備推進事業 H27.2月試算計上額

(単位:百万円)

区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	計	
事業費	100	364	785	1,454	5,257	278	8,238	
特定財源	国庫支出金	25	180	335	649	2,365	125	3,679
	市債	62	166	405	714	2,602	138	4,087
	その他							0
整備時一般財源	13	18	45	91	290	15	472	
公債費		1	3	8	19	57	88	
影響額	13	19	48	99	309	72	560	

528百万円

今後の財政運営について

- 中期財政見通しのローリング（時点修正）は、通常、以下のとおり年3回行うこととしています。
 - 10月・・・中期的な財政収支（財政見通し）をもとに、翌年度の予算編成の方針を反映させるため
 - 2月・・・当初予算編成後に検証を行うため
 - 8月・・・前年度決算や普通交付税の本算定結果等により、変化が生じるため
- 今回の8月試算の結果、平成26年度の決算見込、平成27年度の普通交付税本算定や市税収入見込みの影響等により、目標とするH27末基金残高の66.1億円（50億円+H28以降庁舎整備一般財源）を約8.6億円（856百万円）上回る状況であり、前回試算（2月中期財政見通し）に比べH27末基金残高は増える見込みとなりました。
- しかしながら、試算に反映されていない、「今後の変動要素」（P11参照）の中には、多額の財源を要する項目もあり、持続可能な財政運営のためには、今年度策定する「次期行財政改革プラン」の取組内容が非常に重要となっていくものと考えています。
- 現在の財政プランの期間においては、基金残高の目標は達成見込みとなっておりますが、平成28年度～平成32年度を期間とする、新たな「財政プラン」（「行財政改革プラン」、「定員管理計画」と併せて今年度中に策定）においても、厳しい財政状況下にあっても「市民サービスに可能な限り影響を及ぼさないこと」、かつ「持続可能な財政運営をすること」、この2つの両立を図るため、引き続き、財政規律を順守しながら、効果的・効率的な行財政運営を行い、3基金の確保に努めていかなければならないものと考えています。